

令和 4 年度確定係数による算定について
（東京都全体）

1 令和 4 年度確定係数による納付金

(1) 令和 3 年度算定（確定係数）との比較

事項	令和 3 年度算定	令和 4 年度算定	差	伸び率
被保険者数	276 万人	267.4 万人	▲8.6 万人	▲3.1%
給付費総額	7,872 億円	7,865 億円	▲7 億円	▲0.1%
1 人当たり給付費	285,250 円	294,173 円	8,923 円	3.1%
納付金総額*	4,176 億円	4,346 億円	170 億円	4.1%
1 人当たり納付金額*	179,710 円	189,368 円	9,658 円	5.4%

※医療・後期・介護ごとに算出し、合算した額

(2) 令和 3 年度納付金総額との比較

令和 3 年度			令和 4 年度		
国・都 公費	前期高齢 者交付金	納付金 必要額	国・都 公費	前期高齢 者交付金	納付金 必要額
3,605 億円	2,512 億円	4,176 億円	3,523 億円	2,346 億円	4,346 億円
35.0%	24.4%	40.6%	34.5%	23.0%	42.5%

(3) 令和 4 年度 1 人当たり納付金額の増額要因（+9,658 円）

【歳出の主な要因】

- 給付費の増 8,923 円
- 後期高齢者支援金の減 ▲681 円
- 介護納付金の減 ▲367 円

【歳入の主な要因】

- 国庫負担金（32%）の増 3,364 円
- 都繰入金の増 777 円
- 前期高齢者交付金の減 ▲3,248 円
- 納付金過多の減 ▲2,880 円

2 令和 3 年度 1 人当たり保険料（税）額との比較

令和 3 年度算定	令和 4 年度算定	伸び率
157,351 円	167,042 円	6.2%